

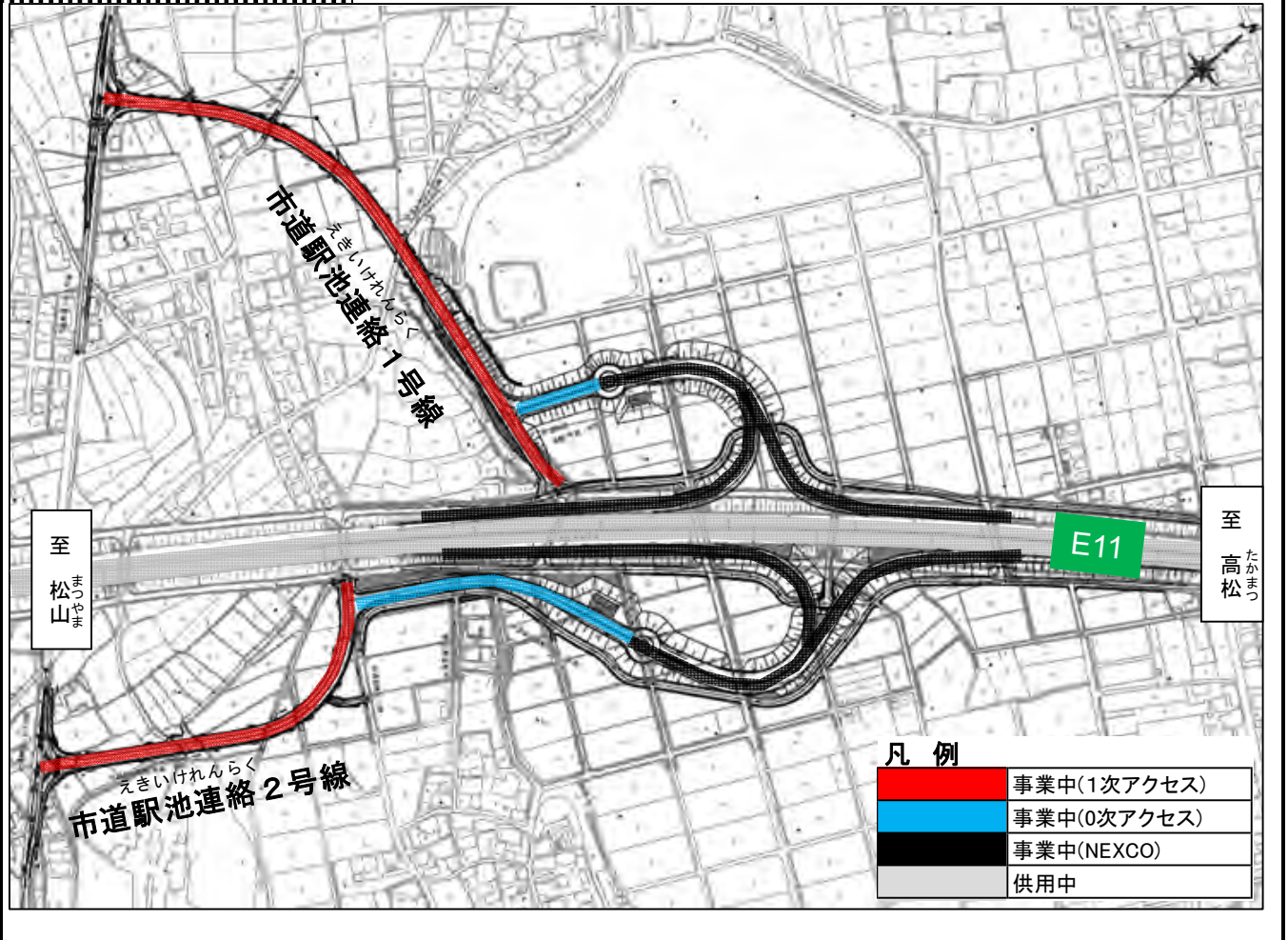
再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局環境安全・防災課

担当課長名：伊藤 高

| | | | | | |
|---|--|--|---|--------------------|-------|
| 事業名 | スマートICアクセス 市道 駅池連絡1号線、市道 駅池連絡2号線 （仮称）観音寺スマートICアクセス | 事業区分 | 地方道 | 事業主体 | 観音寺市 |
| 起終点 | 白：香川県観音寺市池之尻町 至：香川県観音寺市古川町 | | | 延長 | 0.8km |
| 事業概要 | | | | | |
| 高松自動車道において（仮称）観音寺スマートICを新規にNEXCO西日本が整備を行う。これに伴いランプ部と既設市道（市道駅池連絡1号線）を結ぶ1次アクセス道路（市道駅池連絡1号線外1線）を新規に整備するものである。これを整備することにより、重症患者を迅速に管外搬送できる他、大規模災害時においては自衛隊や物資の受け入れを迅速に行えることが期待される。 | | | | | |
| R3年度事業化 | | 都市計画決定 無し | | R3年度用地着手 | |
| R4年度工事着手 | | | | | |
| 全体事業費 | 約11億円 | 事業進捗率 | 約75% | 供用済延長 | km |
| 計画交通量 | 2,700台/日 | | | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C （事業全体） 5.0 （残事業） 7.8 | 総費用 （残事業）/（事業全体） 7.0/11億円 事業費：7.0/11億円 維持管理費：0.40/0.40億円 | 総便益 （残事業）/（事業全体） 55億円 走行時間短縮便益：47/47億円 走行経費減少便益：6.8/6.8億円 交通事故減少便益：1.9/1.9億円 | 基準年 令和5年 | |
| 感度分析の結果 | | | | | |
| 実施なし | | | | | |
| 事業の効果等 | | | | | |
| ・観音寺市内のほぼ全域がICから10分圏内（既存ICを含む）となるため、重症患者の第三次救急医療施設（三豊総合病院）の受入れが困難な場合、管外への搬送時間を短縮できるほか、多様な救急搬送ルートが選択可能になる。 ・大規模災害時における自衛隊の進出拠点（観音寺市総合運動公園）や物資供給拠点（観音寺市役所）へのアクセス性が向上し、迅速かつ確実な対応が可能となる。 | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | | | | | |
| ・年間約850人の救急患者を管外搬送しているため、早期完成をお願いしたい。（三観広域行政組合） ・高速道路は一般道と比べて安全で信号もなく揺れも小さいことから、救急搬送の際に患者の負担を軽減することができる。（三観広域行政組合） ・中心市街地へのアクセス性が向上し、観光案内や企業誘致に有効である。（観音寺商工会議所） ・三豊市と観音寺市を周遊するアクセスルートが増えることで利便性の向上が期待できる。（三豊市） | | | | | |
| 事業評価監視委員会の意見 | | | | | |
| 事業継続を妥当と認める。 | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 | | | | | |
| 周辺環境等に特に変化はない。 | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | | | | | |
| 用地進捗率約50%、事業進捗率約75% | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | | | | | |
| 引き続き、早期供用開始に向けて事業を推進中。 | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | | | | | |
| 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。 | | | | | |
| 対応方針 | | | | | |
| 対応方針決定の理由 | | | | | |
| 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。 | | | | | |

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。